

平成30年2月23日

平成29年度戦略的芸術文化創造推進事業

「ここから2—障害・感覚・共生を考える8日間」の開催

文化庁は、平成30年3月17日から3月25日まで、国立新美術館において「ここから2—障害・感覚・共生を考える8日間」を開催いたしますので、お知らせいたします。

1. 概要

本展は、平成28年10月に行われた「スポーツ・文化・ワールド・フォーラム」で開催した文化庁主催「ここから アート・デザイン・障害を考える3日間」展を継承し、「障害・感覚・共生を考える」をテーマとして企画した展覧会です。障害のある方たちが制作した魅力ある作品と、文化庁メディア芸術祭の受賞作などから選ばれた、身体感覚をゆさぶるようなマンガ、アニメーション、ゲーム、メディアアート等の作品に加え、誰でも楽しめる参加型の作品を展示します。また、特別展示として文化庁長官の宮田亮平の作品と、文化庁が所蔵する彫刻作品を手で触れて鑑賞する展示も行います。このほか、会期中、監修者によるトークなどのイベントも併せて行います。

2. 会期等

「ここから2—障害・感覚・共生を考える8日間」

会期：平成30年3月17日（土）～3月25日（日）

会場：国立新美術館 企画展示室2E
（東京都港区六本木7-22-2）

10:00～18:00 ※17（土）・23（金）・24（土）は20:00まで ※入場は閉館の30分前まで

入場料：無料

3. 主催等

主催：文化庁

共催：国立新美術館

制作：アート・ベンチャー・オフィス ショウ

4. 問合せ先

「ここから2」展広報事務局（アート・ベンチャー・オフィス ショウ内 担当：市川）

電話：03-3485-7866

FAX：03-3485-7851

<担当> 文化庁文化部芸術文化課支援推進室育成係

支援推進室長 柏田 昭生 (内線 2858)

支援推進室長補佐 三浦 幹生 (内線 2084)

育成係長 森 考平 (内線 2081)

電話：03-5253-4111 (代表)

文化庁主催

ここから2 — 障害・感覚・共生を考える8日間



First steps toward disability, sense and co-existence

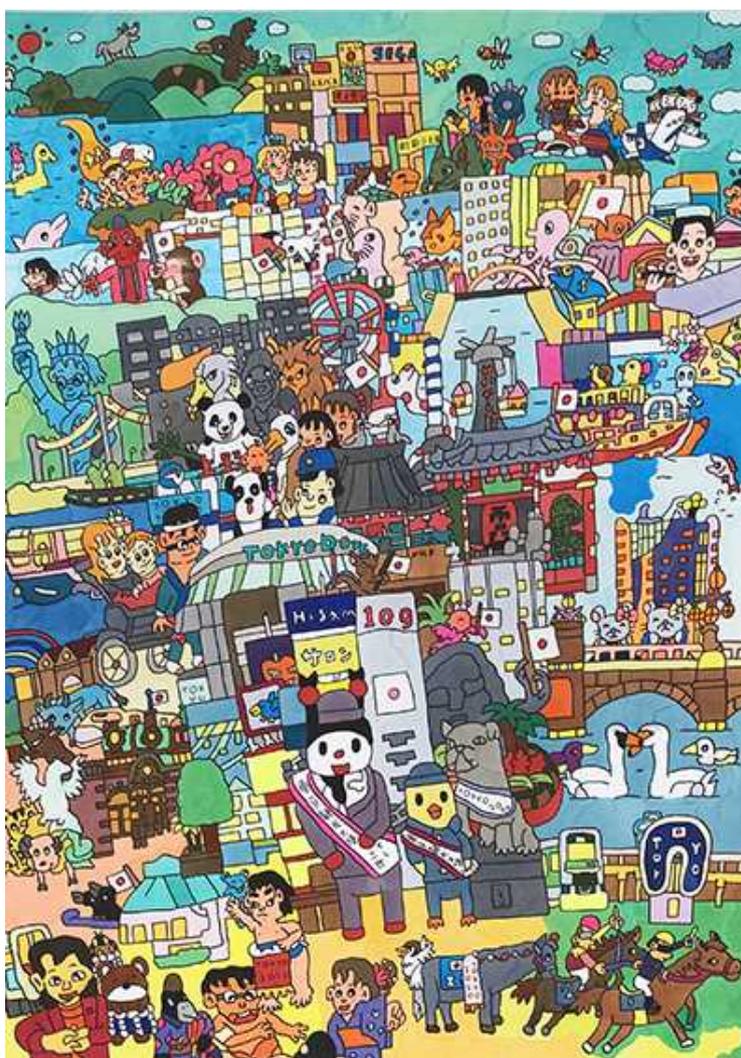
2018年3月17日（土）



25日（日）

国立新美術館 企画展示室 2F

入場無料



①横溝 さやか《TOKYO》

展覧会概要

本展は、平成28年10月に行われた「スポーツ・文化・ワールド・フォーラム」で開催した文化庁主催「ここから アート・デザイン・障害を考える3日間」展を継承する展覧会です。「障害・感覚・共生を考える」をテーマとし、障害の有無に関わらず、同じ場に来て展示を見ることにより、アートを通じて共生社会を考える機会となるよう企画するものです。障害のある方たちが制作した魅力ある作品と、文化庁メディア芸術祭の受賞作などから選ばれた、障害に関連するマンガ、アニメーション、ゲーム、メディアアート等の作品や、誰でも楽しめる参加型の作品を展示し、あらゆる人々にとって新たな意識、新たな「生き方の創造」につなげていきます。会期中、監修者によるトークなどのイベントも併せて行います。

「ここから2 — 障害・感覚・共生を考える8日間」

2016年10月に文化庁が開催した「ここから—アート・デザイン・障害を考える3日間」の第2弾「ここから2 — 障害・感覚・共生を考える8日間」を国立新美術館で開催します。「生き方の創造を探求する」という考えのもと、多くの人が新たな意識で生きるための一歩を踏み出すことを目標にする展覧会です。今回は、障害のある方たちが制作した魅力ある作品に加えて、文化庁が1997年から開催する「文化庁メディア芸術祭」の受賞作を中心にメディア芸術作品も紹介します。3つのパートによって、障害のあるなしにかかわらず、身体や感覚、感性を揺さぶられ、共に楽しむことで、新たな生き方につながることを願っています。

前山裕司（本展監修／美術評論家、埼玉県立近代美術館元首席学芸主幹）

小林桂子、戸田康太（本展協力／独立行政法人日本芸術文化振興会 プログラムオフィサー（メディア芸術））

開催概要

展覧会名： ここから2 — 障害・感覚・共生を考える8日間

会期： 2018年3月17日（土）～25日（日）

休館日： 3月20日（火）

開館時間： 10：00～18：00 ※3月17日（土）、23日（金）、24日（土）は20：00まで
（入場は閉館の30分前まで）

会場： 国立新美術館 企画展示室2E

主催： 文化庁

共催： 国立新美術館

制作： アート・ベンチャー・オフィス ショウ

観覧料： 無料

●展覧会に関するお問い合わせ：03-5777-8600（ハローダイヤル）

●展覧会ホームページ：<http://www.kokokara-ten.jp>

●国立新美術館ホームページ：<http://www.nact.jp>

※イベント情報は決定次第、展覧会ホームページにてお知らせします。



国立新美術館
〒106-8558 東京都港区六本木7-22-2

アクセス

東京メトロ千代田線 乃木坂駅 青山霊園方面改札 6出口（美術館直結）

東京メトロ日比谷線 六本木駅 4a出口から徒歩約5分

都営地下鉄大江戸線 六本木駅 7出口から徒歩約4分

掲載について
のお問合せ

「ここから2」展 広報事務局（アート・ベンチャー・オフィス ショウ内）担当 市川

〒151-0063 東京都渋谷区富ヶ谷1-18-8-301

TEL：03-3485-7866 FAX：03-3485-7851 e-mail：avo-shou.pr@ktd.biglobe.ne.jp

展覧会構成

1) ここからはじめる～生きる・つくる・アートの原点に触れる～

障害のある人の創作活動には、表現すること、さらには生きることの原点に触れるような作品が見受けられます。生きることとつくることが等しいような作品は、見る人の心に直接届きます。さまざまな作品との出会いから一歩が始まるはずです。

● 出品予定作家

横溝さやか、宮川佑理子、大川誠、竹中克佳、松本倫子、杉浦篤、岩元哲文、マスカラ・コントラ・マスカラ、金澤翔子、多夢多夢舎 ほか



②宮川佑理子《無題》2010年



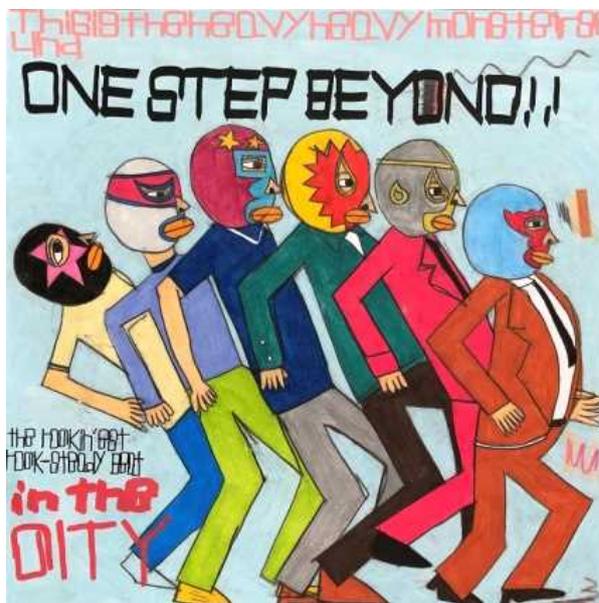
③松本倫子《HOPPE》2017年



④大川誠《Makoot》



⑤杉浦篤



⑥マスカラ・コントラ・マスカラ
《覆面とロック(レコジャケシリーズ)》2016-17年

2) ここからひろがる～身体感覚をゆさぶるメディア芸術～

マンガやアニメーション、ゲームやメディアアートなどのメディア芸術分野から、身体感覚をゆさぶるような作品を展示します。これらは、普段あまり意識されることのない自らの視覚や聴覚、触覚などを際立たせ、時には不思議な感覚をもたらします。

● 出品予定作家

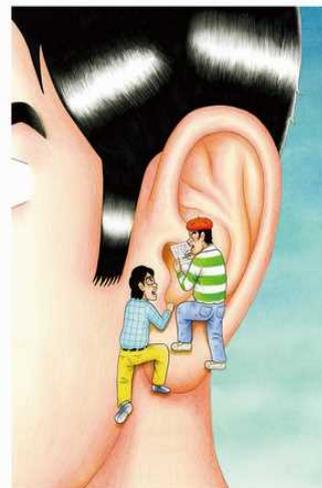
杉浦 茂／五十嵐 大介／いがらし みきお／吉本 浩二／久野 遥子／Jean-Charles MBOTTI MALOLO／うしお／島影 圭佑／福森 みか／Ryo Kishi



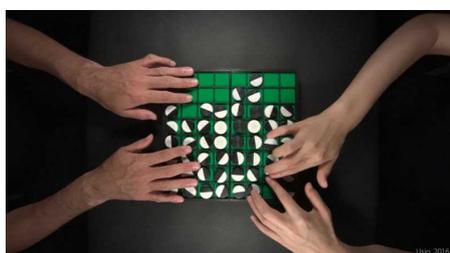
⑦久野遥子《Airy Me》2013年
©2013 Kuno Yoko All Rights Reserved.



⑧島影圭佑《OTON GLASS》2015年～2018年
Photo: KIOKU Keizo,
Courtesy: 21st Century Museum of
Contemporary Art, Kanazawa



⑨吉本浩二
《淋しいのはアンタだけじゃない》
2016年～2017年 ©YOSHIMOTO Koji



⑩うしお
《Where are you?》2016年

3) ここからつながる～みんなで作る！あわプロジェクト～

自分のからだを使って、様々な色に輝く映像の「あわ」をつくります。参加者ひとりひとりが描いた「あわ」が集まり、みんな (= Our) のあわがギャラリーの大空間を彩るプロジェクトです。すべての人々がつながり、ともに創造する未来を体感してみませんか。(制作：フリッカ)



制作：フリッカ(参考画像)

特別展示

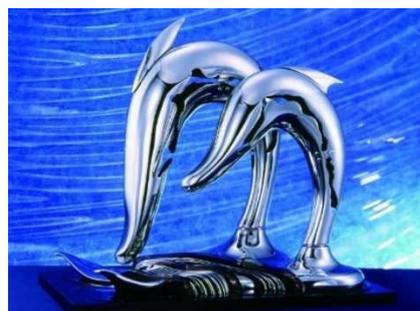
「ここからTOUCH」:

さまざまな「感覚」を使って作品を鑑賞していただくため、文化庁長官で金工作家でもある宮田亮平の作品、文化庁が所蔵する青木野枝、多和圭三、黒川弘毅の彫刻作品を「触れてみる」展示を行います。普段は視覚でとらえている作品を、触覚で体験してみてください。

「GO Journal」:

日本財団パラリンピックサポートセンターが創刊した、パラスポーツと未来を突き動かすグラフィックマガジン「GO Journal」。このマガジンを監修する写真家の蜷川実花らによるパラアスリートの写真を展示します。

協力：日本財団パラリンピックサポートセンター



⑪宮田亮平《シュプリンゲン》(参考作品)
2014年 ©丸子 成明

マンガライブラリー

本展のテーマに沿ったマンガ作品を文化庁メディア芸術祭受賞作品を中心に選び、実際に手に取って読めるように展示します。

イベント

会期中、アーティストトークや、監修者による解説ツアー等を予定しています。

掲載についてのお問合せ

「ここから2」展 広報事務局 (アート・ベンチャー・オフィス ショウ内) 担当 市川
〒151-0063 東京都渋谷区富ヶ谷1-18-8-301
TEL : 03-3485-7866 FAX : 03-3485-7851 e-mail : avo-shou.pr@ktd.biglobe.ne.jp

広報用作品画像データ貸出依頼書

掲載についての注意事項と広報用作品画像データ申込書

FAX : 03-3485-7851 e-mail : avo-shou.pr@ktd.biglobe.ne.jp

以下の内容をお読みいただき、必要事項をご記入のうえお送りください。

1. 作品画像データのご提供

本展覧会を紹介していただける場合に限り、プレスリリースの11作品の画像データを貸出いたします。
ご希望の番号に○をつけてお申し込み下さい。

2. 掲載についての注意事項

- 必ず記載必要事項を記入してください。
*作品によって、作品名や制作年がないものがあります。
- 作品は必ず全図で使用してください。改変、部分使用、文字のせなどはできません。
- 確認のため、必ずゲラの段階で広報事務局に原稿をFAXかメールにてご送付願います。
作品使用は、本展覧会の紹介用のみとさせていただきます。*展覧会終了後の使用は出来ませんのでご了承下さい。
- ご掲載いただいた場合、掲載紙/誌を1部、広報事務局にご送付下さいますようお願い申し上げます。
*尚、掲載ページをpdfファイルにてお送りいただいても構いません。(その際は広報事務局までご一報ください)

3. 読者・視聴者へのお問い合わせ先の掲載は

TEL : 03-5777-8600 (ハローダイヤル) 展覧会ホームページ : <http://www.kokokara-ten.jp>

申し込みフォーム

貴媒体名			
貴社名/部署			
ご担当者名		e-mail :	
ご住所	〒		
ご連絡先	TEL :	FAX :	
掲載予定号/放送予定日		掲載号発売日	月 日
画像データの必要期限	月 日まで		

■希望の作品 No.に○をつけて下さい。

No.	貸出画像一覧
1	横溝さやか《TOKYO》
2	宮川佑理子《無題》2010年
3	松本倫子《HOPPE》2017年
4	大川誠《Makoot》杉浦篤
5	杉浦篤
6	マスカラ・コントラ・マスカラ《覆面とロック (レコジャケシリーズ)》2016-17年
7	久野遥子《Airy Me》2013年 ©2013 Kuno Yoko All Rights Reserved.
8	島影圭佑《OTON GLASS》2015年~2018年 Photo:KIOKU Keizo, Courtesy:21st Century Museum of Contemporary Art, Kanazawa
9	吉本浩二《淋しいのはアンタだけじゃない》2016年~2017年 ©YOSHIMOTO Koji
10	うしお《Where are you?》2016年
11	宮田亮平《シュプリングエン》(参考作品)2014年 ©丸子 成明

《広報の問い合わせ先》「ここから2」展 広報事務局 (アート・ベンチャー・オフィス ショウ内)

〒151-0063 渋谷区富ヶ谷 1-18-8-301 TEL 03-3485-7866 FAX 03-3485-7851 e-mail : avo-shou.pr@ktd.biglobe.ne.jp